

第73回北海道社会福祉大会 開催要綱

1 趣 旨

近年、社会福祉をめぐるのは、人口構造の高齢化、家族のあり方や地域社会の変容に伴い、経済的困窮や社会的孤立の状態にある人たちの生活課題が顕在化するなど、地域の福祉ニーズは多様化、複雑化しております。

多様な生活課題の解決に向けては、新しい制度に即した公的施策の推進、民生委員・児童委員や社会福祉従事者、NPOやボランティアなどとの公私協働はもとより、地域住民一人ひとりが地域の課題に取り組むことにより、道民誰もが安心して暮らし続けることのできる地域共生社会の実現を目指していくことが必要です。

そこで、永年、社会福祉の推進に貢献された方々に感謝の意を表する為に表彰を行うとともに、本道の社会福祉関係者が一堂に会し、これからの社会福祉、地域共生社会のあり方を考えることを目的に、本大会を開催いたします。

2 と き 令和8年10月30日（金） 13時00分～16時00分

3 と ころ 札幌市教育文化会館 小ホール
(札幌市中央区北1条西13丁目 Tel 011-271-5821)

4 主 催 北海道社会福祉協議会 北海道

5 後 援 札幌市 札幌市社会福祉協議会 北海道市長会 北海道町村会 北海道医師会
(予 定) 日本赤十字社北海道支部 北海道町内会連合会 北海道民生委員児童委員連盟
北海道母子寡婦福祉連合会 北海道女性団体連絡協議会 北海道老人クラブ連合会
北海道身体障害者福祉協会 北海道手をつなぐ育成会 北海道精神障害者家族連合会
北海道民間社会福祉事業職員共済会 北海道保育協議会 北海道救護施設協議会
北海道老人福祉施設協議会 北海道児童施設協議会 北海道知的障がい福祉協会
北海道母子生活支援施設協議会 北海道身体障害者福祉施設協議会 北海道デイ
サービスセンター協議会 北海道地域活動振興協会 北海道社会就労センター協議会
北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会

6 参加対象

- (1) 社会福祉協議会、共同募金会などの社会福祉関係者
- (2) 町内会、自治会などの住民組織関係者
- (3) 社会福祉事業実施企業・団体などの関係者
- (4) 民生委員児童委員
- (5) 社会福祉施設関係者
- (6) 社会福祉、保健衛生、教育など行政機関の職員
- (7) ボランティア、NPO関係者、学生
- (8) その他、本大会の趣旨に賛同する方

7 参加者 定員300名

8 日 程

12:00	13:00	14:15	16:00
受付	開 会	式典	休 憩
		トークセッション	閉 会

9 プログラム

- (1) 受付 [12時00分～13時00分]
- (2) 開会 [13時00分]
- (3) 式典 [13時00分～14時00分]

①北海道知事表彰

②北海道社会福祉協議会会長表彰

- (4) トークセッション「“地域共生社会”って何だろう？」 [14時15分～16時00分]

国は地域共生社会について、「誰もが役割と生きがいを持ち、互いに支えたり、支えられたりする関係が循環する地域社会」と「地域での生活を構成する幅広い関係者による参加と協働により、持続的発展が期待できる地域社会」という2つの視点を掲げています。

このトークセッションでは、実際に地域の方々が「地域共生社会」をどう捉え、どう向き合っているのかお話しいただき、目指すべき「地域共生社会」の姿について掘り下げます。

- トーク1 「地域共生社会の現場から ～インクルージョン未来推進機構の取組み～」
島 信一朗 氏（インクルージョン未来推進機構 代表）



多種多様に違う一人ひとりの存在を「尊重」し、誰一人置き去りにすることなく、支え合いながら全てが混ざり合い、無理なく自然に繋がり合うことで、共存を目指す「インクルージョン」。自身も視覚障がい当事者として函館市で鍼灸師業を営みながら、障がい者スポーツ・アートイベント、学校における子どもたちへの体験教室の取組みなど、多様な機会を通じて、この「インクルージョン」に出会う機会を地域の方々に提供している。また、自らもアート作品創作や執筆・出版に取り組む。内閣府障害者関係功労者総理大臣表彰ほか、受賞歴も多数。

- トーク2 「地域共生社会の現場から ～みらいつくり研究所の取組み～」
土畠 智幸 氏（みらいつくり研究所 所長／医療法人稲生会 理事長）



困難を抱える人々とともに、より良き「みらい」をつくるための方法を探究するために、障がいの有無に関わらず、すべての人がともに学ぶことのできる場について研究する「みらいつくり研究所」の活動を通じ、哲学学校、アイヌ語講座、手話講座、バスツアーなど様々な学びの場づくりに取り組む。2026年度からは、障害のある若者と障害のない大学生がチームになって一緒にチャレンジするWE-DO Hokkaidoのプロジェクトを開始、医療福祉専門職や特別支援学校教員などの支援者とともに、色々な形の「じりつ」を探究している。

- トークセッション

地域福祉推進の役割を担う立場として、北海道社会福祉協議会の塚本泰司会長を加え、島氏、土畠氏とともに、これから目指すべき地域共生社会について掘り下げていきます。コーディネーターは北海道社会福祉協議会の橋本伸也理事が務めます。



塚本 泰司
(北海道社会福祉協議会 会長
／前札幌医科大学学長)



コーディネーター 橋本 伸也
(北海道社会福祉協議会 理事
／藤女子大学名誉教授)

- (5) 閉会 [16時00分]

10 参加費

- (1) 参加申込方法・参加申込締切
「第73回北海道社会福祉大会参加申込要領」をご参照の上、お申込ください。
- (2) 参加費
1,500円（式典のみ出席される被表彰者の方は無料）
※納入期限：令和8年10月16日（金）

11 お問い合わせ先

北海道社会福祉協議会 企画総務部 総務課

【担当（大会参加に関すること）：富田】

【担当（式典・表彰に関すること）：佐藤】

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2. 7 3階

TEL (011) 241-3976

FAX (011) 251-3971